

論文の内容の要旨

論文題目 自己知覚の変化をきっかけとした主観的体験の合成

氏名 櫻井 翔

本論文では、メディア技術によって自己に対する知覚を変化させることで「知・情・意」と表される主観を合成する手法を提案、構築した。人間の主観は身体イメージに基づいて生起すること、身体イメージは身体の状態を直接フィードバックする内部感覚だけでなく視覚を初めとする環境を知るための特殊感覚の影響によっても変化することという 2 つの認知科学分野の知見を応用し、人間の情報処理過程を踏まえた手法を考案した。

本研究では、内部感覚を通じて知覚される身体、外部感覚による観察を通じて知覚される身体、経験・学習によって実際の新体外にまで拡張された身体イメージという 3 種の身体イメージそれぞれを操作する手法を提案し、知・情・意に相当するさまざまな主観を喚起可能なことを示した。さらに 3 通りのアプローチの特性を比較し、それぞれの特徴や有効範囲をまとめ、主観をも含んだ VR を構成するための方法論について論じた。